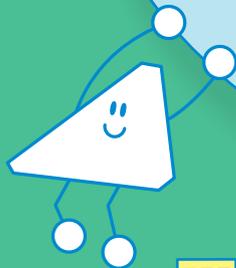


第38期 株主通信

2020年4月1日～2021年3月31日



<証券コード7208>

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
新型コロナウイルス感染症で被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます。

今期（2021年3月期）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により需要が低迷したこと等から、当社グループの売上高は7,034百万円（対前期比13.7%減少）となりました。利益面では、営業損失398百万円（前期は営業利益113百万円）、経常損失398百万円（前期は経常利益113百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失109百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益70百万円）となりました。

セグメント別では、日本は売上高4,909百万円（対前期比8.0%減少）、営業損失480百万円（前期は営業損失167百万円）となりました。東南アジアは売上高1,474百万円（対前期比31.1%減少）、営業損失は41百万円（前期は営業利益102百万円）、中国は売上高810百万円（対前期比10.2%減少）、営業利益91百万円（対前期比28.2%減少）となりました。

次期（2022年3月期）は、「明日（みらい）の話ができる会社にしよう」をスローガンに、2023年3月期が最終期である第8次中期経営計画の達成に向けて、

- ①次期商品の収益確保
- ②主力商品プーリでの高収益確保
- ③明日（みらい）に向けた次代商品の開発
- ④魅力あふれる会社へ変革

を重点取組事項として進めていきます。

具体的には、2021年3月に新設しました「先行開発室」では、電動部品など次代商品の開発を強力に進めてまいります。また、「魅力あふれる会社」の実現を目指して、働き方改革や健全な職場環境整備などを推進していき、持続可能な成長を追求していきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の経営に対する深いご理解とより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

金光俊明



次期の配当および業績予想について

配当

第39期年間配当27.00円（50銭増配）予定

次期の業績予想は、新型コロナウイルスの影響により減少した自動車生産台数が回復する見込みであることから、売上高9,200百万円、営業利益400百万円、経常利益370百万円、親会社株主に帰属する当期純利益360百万円を見込んでおります。

2020年10月 長崎県企業版ふるさと納税の感謝状が贈呈されました

長崎県の企業版ふるさと納税寄付企業（2019年度納付）に対する感謝状贈呈式が長崎県庁で行われ、中村法道知事から感謝状が手渡されました。

当社は進出地である長崎県の「地域の将来を担い支える若者の人材育成プロジェクト」を支援することにより、微力ではありますが長崎の発展に寄与していきたいという思いから寄付しました。



長崎県庁にて中村法道知事と

11月 明石公園植栽活動を行いました

実施日時：11月28日10：00～11：00 実施場所：明石公園

公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会 明石公園と協働での植栽活動しております。

明石公園正面入り口の花壇となっておりますので、お近くをお通りの際は是非お立ち寄りください。



明石公園にて参加者と

2021年1月 自動車部品&加工EXPOに出展しました

今回で3度目となる、自動車部品&加工EXPOに出展しました。

開催日時：1月20日～22日

開催場所：東京ビッグサイト南展示棟・オンライン展示

コロナ禍における感染防止対策のため、展示会場およびオンラインでの出展としました。そのような中、多くの方に当社の技術を知っていただける良い機会となりました。



東京ビッグサイトの当社ブース

3月 明石工場跡地の活用が決定しました

創業の地である兵庫県明石市の明石工場は、2020年3月期中に閉鎖し、現在、空き地となっております。

当社は、当該跡地につきまして、地域貢献を第一に、その有効活用を検討してまいりましたが、このたび、本年3月9日付で、物販会社との間で、事業用借地権設定予約契約を締結することになりました。2022年初旬に物販店舗がオープンする予定です。

今後とも、地域に貢献できるよう努めてまいりたいと考えております。



明石工場跡地

■ 先行開発室を新設しました

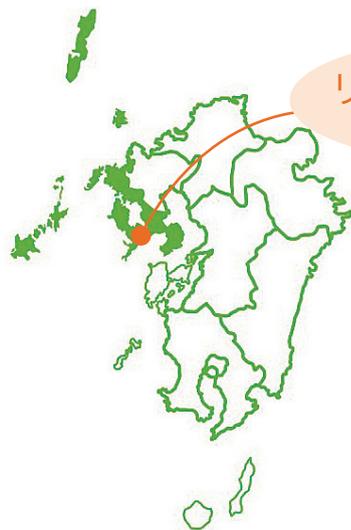


先行開発室 リサーチセンター 外観

当社は、2021年3月、新商品開発に専念する「先行開発室」を長崎市のリサーチセンター内に設置しました。

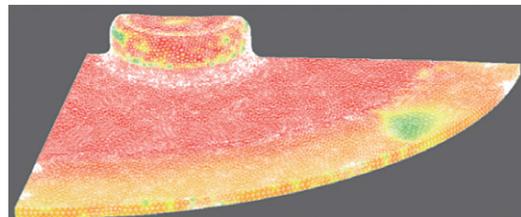
今後、先行開発室を中心として、xEV部品の開発を重点的に進めるほか、医療用部品、ロボット部品、B to C商品の開発を進めていく予定です。

またこのリサーチセンターでは、独自の設計解析システムKAVS※によりバーチャル試作開発を進めています。



リサーチセンター
(長崎県長崎市)

※KAVS (Kanemitsu Analyze Virtual Simulation)



加西第四工場を建設し、稼働を開始しました

当社は、子会社である松本精工株式会社のトランスミッション部品やxEV関連部品の機械加工を移管集約するため、加西第四工場を建設し、2021年1月より稼働を開始しました。

これにより、加西工場内ではトランスミッション部品の一貫生産体制を実現し、更なる生産性向上や品質向上を目指してまいります。

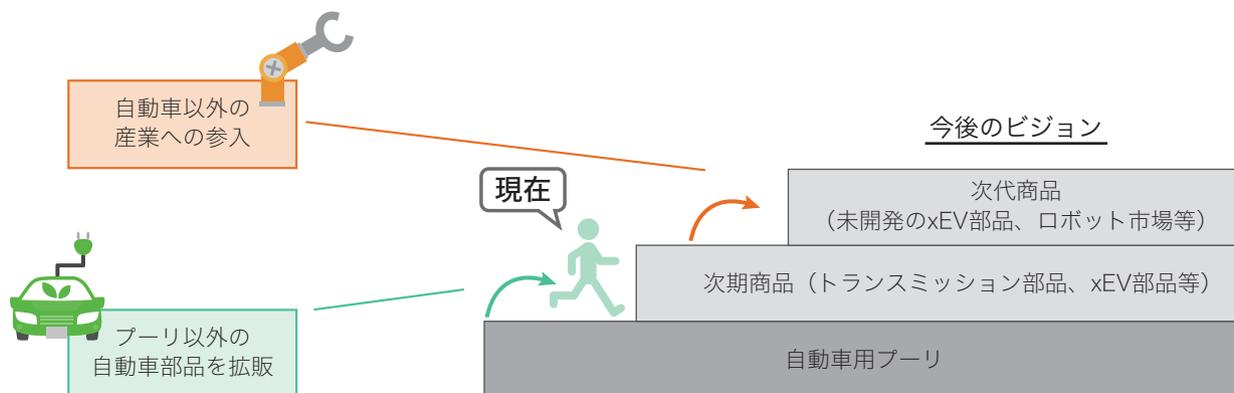


第四工場 外観



第四工場 内観

第8次中期経営計画 進捗



当社は、これまで自動車用プーリの拡販を事業の中核として進めてまいりました。自動車が電動化へとシフトしていく中で、トランスミッション部品やxEV部品などの次期商品の更なる事業拡大を進めてまいります。また、2021年3月に設置した先行開発室を中心に電気自動車の基幹部品など次代商品の開発、商品化を強力に進めてまいります。

次期商品…主力商品プーリに代わる新たな事業の柱となる商品をいいます。当社ですでに商品化され、販売実績があるものです。次期商品として、トランスミッション部品、xEV部品などを位置づけています。

次代商品…当社ではまだ販売実績がなく、中長期的に当社の新たな事業となるべく開発中の商品をいいます。次代商品として、未開発のxEV部品や産業用ロボット部品などを位置づけています。

xEV………電気自動車やハイブリッド自動車など電動動力を持つ自動車を指します。

1. スローガン

“明日（みらい）の話ができる会社にしよう”

2019年度から引き続き上記スローガンを掲げ、社員一丸となって取り組んでまいります。

2. 2022年3月期 取組事項

次期商品の拡販および収益確保を経営の最重要課題とするとともに、「先行開発室」を設置して次代商品の開発に取り組んでまいります。

1. 次期商品の収益確保
 - ・ トランスミッション部品、電動部品の拡販推進と増産体制整備
 - ・ QA体系図の運用徹底
 - ・ 改善活動の徹底
2. 主力商品プーリでの高収益確保
 - ・ ラインの統廃合
 - ・ 金型、設備の保全
 - ・ 工程内検査工数の大幅削減
3. みらい 明日に向けた次代商品の開発
 - ・ 先行開発室を中心とした次代商品開発の推進
4. 魅力あふれる会社へ変革
 - ・ 働き方を改革しより魅力的な会社へ
 - ・ 安全、安心、快適な職場環境の整備
 - ・ グループ会社の収益力強化



トランスミッション部品



プーリ ※エンジン部品

3. 2022年3月期 定量目標

	2022年3月期
連結売上高（百万円）	9,200
海外売上高比率	30%
プーリ外商品売上高比率	43%
国内	57%
海外	11%
連結営業利益（百万円）	400
ROE	3.9%

掲載ページ： <http://kanemitsu.co.jp/wp-content/uploads/98918070ed942da7623785f2dfb7eb9c-1.pdf>

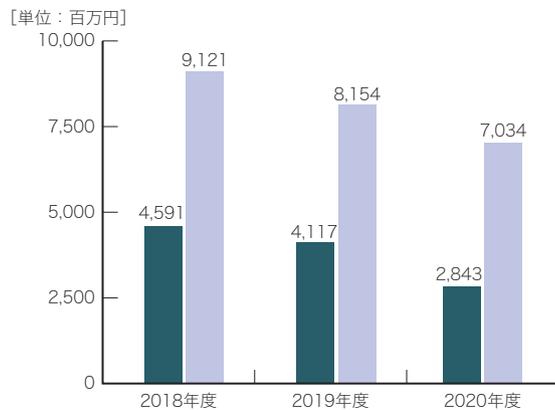


財務ハイライト

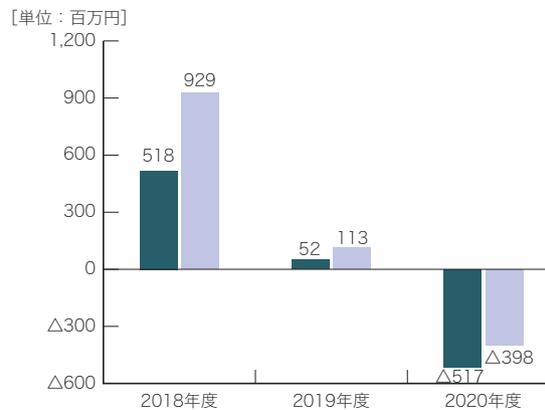
連結業績の推移

■ 第2四半期 ■ 通期

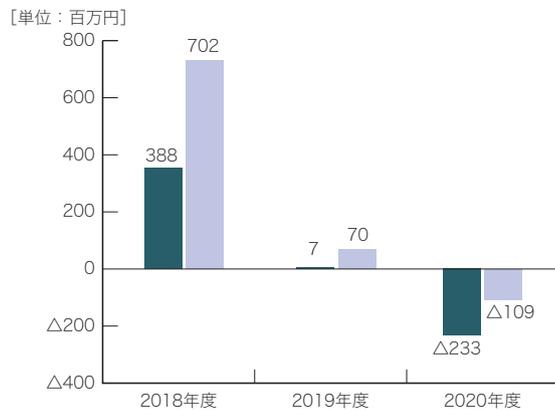
売上高



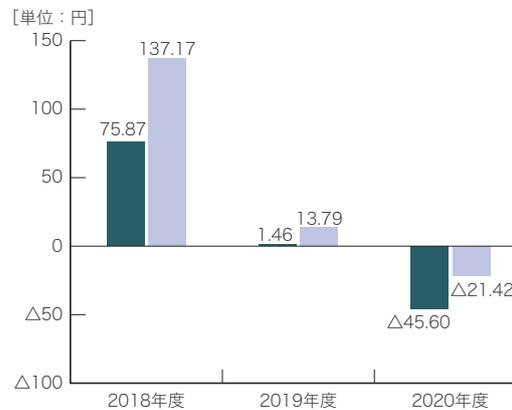
営業利益



親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益



1株当たり当期純利益



連結貸借対照表（要旨）

[単位：千円]

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当連結会計年度末 (2021年3月31日)
資産合計	13,096,578	14,146,735
負債合計	3,592,821	4,999,068
純資産合計	9,503,756	9,147,667
負債純資産合計	13,096,578	14,146,735

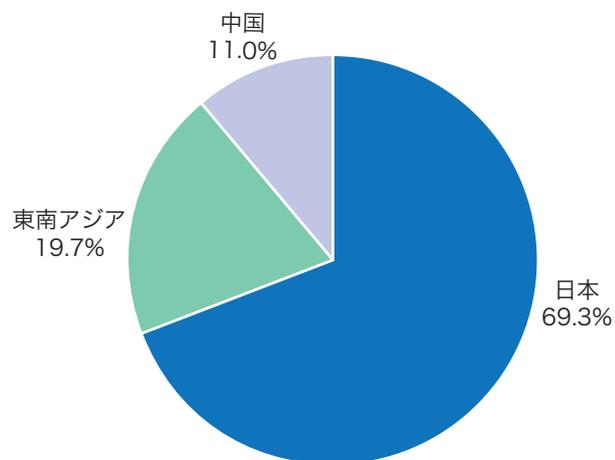
連結損益計算書（要旨）

[単位：千円]

	前連結会計年度 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)	当連結会計年度 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)
売上高	8,154,430	7,034,151
売上総利益	1,653,449	1,101,842
営業利益	113,306	△398,795
営業外収益	47,765	47,190
営業外費用	47,143	46,649
経常利益	113,928	△398,253
特別利益	194,479	359,705
特別損失	52,030	99,730
税金等調整前 当期純利益	256,377	△138,278
親会社株主に帰属 する当期純利益	70,560	△109,550

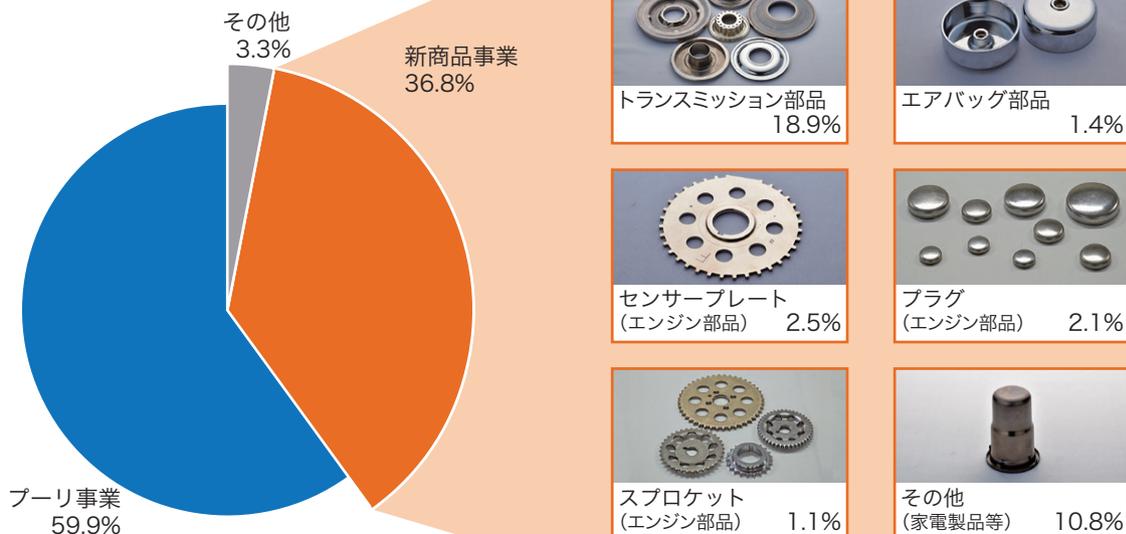
セグメント別売上高構成

連結売上高 7,034百万円



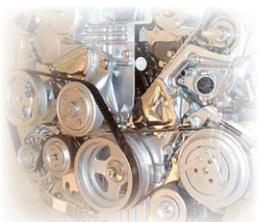
製品紹介

事業別売上高比率



プーリ事業

独自の鋼板立体造形技術による軽量プーリのアジアでの更なる拡販を目指します



エンジンに取り付けられたプーリ

売上の約6割を占める主力商品プーリは、自動車や農業機械等のエンジンの動力伝達に欠かせない機能部品です。独自の回転成形法とプレス増減肉工法を両輪とした「鋼板立体造形技術」により、一枚の薄鋼板から製品を一体成形する技術は、当社だけのOnly-One工法であり、軽量、高品質、低コストを実現しております。

タイKTTC（カネミツ・タイランド・テクニカル・センター）へのプーリ設計開発機能の移管を進め、アジアで更なるプーリ拡販に努めてまいります。

新商品事業

プーリで培ってきた鋼板立体造形技術を応用し次代商品の開発を進めてまいります

急速に進む自動車のHV・EV化への変化に対応し、プーリ以外の自動車部品の事業化を先行開発室を中心に進めてまいります。また、これらの開発は当社独自のバーチャル試作KAVSにより、大幅な開発期間の短縮と開発費用の抑制を実現しております。

株式の状況

発行可能株式総数	17,000,000株
発行済株式の総数	5,129,577株

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
金光 俊明	547,100株	10.70%
カネミツ従業員持株会	452,260株	8.84%
大阪中小企業投資育成株式会社	348,640株	6.82%
金光 正弘	204,000株	3.99%
山田 三郎	174,800株	3.42%
バンドー化学株式会社	141,220株	2.76%
日本生命保険相互会社	136,340株	2.67%
明治安田生命保険相互会社	136,340株	2.67%
金光 秀治	123,700株	2.42%
JFE商事株式会社	119,200株	2.33%

(注)持株比率は自己株式数(16,281株)を控除して計算しております。

会社の概況(2021年3月31日現在)

商号	株式会社カネミツ
本社所在地	兵庫県明石市大蔵本町20番26号
創業	1947年1月10日
設立	1950年12月27日
資本金	556,073,892円
代表者	代表取締役社長 金光俊明
従業員数	236名(単体) 616名(連結)
事業内容	自動車、農業機械用プーリーおよび鋼板立体造形品の開発、製造および販売
事業所	工場：兵庫(三木、加西)、長崎 研究所：兵庫(加西)、長崎 営業所：埼玉、愛知
子会社	松本精工株式会社(兵庫) 株式会社津村製作所(大阪) KANEMITSU PULLEY CO., LTD.(タイ) 佛山金光汽车零部件有限公司(中国) PT. KANEMITSU SGS INDONESIA(インドネシア)
関連会社	JBM KANEMITSU PULLEYS PRIVATE LIMITED(インド)

当社ホームページにも株主通信を掲載しております。
下記URLもしくはQRコードからご覧ください。
URL：<http://kanemitsu.co.jp/soukai/>



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

役員状況(2021年6月23日現在)

代表取締役社長	金光 俊明
取締役	大西 将隆
取締役	金光 秀治
取締役	藤井 直樹
取締役	山川 清日
取締役	竹治 康公*
取締役	林 隆一*
取締役	石橋 正明*
常勤監査役	高橋 康弘
監査役	上原 健嗣**
監査役	廣瀬 敬三**

*会社法第2条第15号に定める社外取締役を示しております。

**会社法第2条第16号に定める社外監査役を示しております。

株主メモ

証券コード 7208
証券取引所 東京証券取引所市場第二部
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会基準日 3月31日
剰余金の配当基準日 期末 3月31日
中間 9月30日

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL：0120-094-777（通話料無料）
公告方法 電子公告 当社ホームページ
(<http://kanemitsu.co.jp/ir/library/kokoku/>)
ただし、不測の事態により電子公告による公告が
できない場合は、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数 100株

株主優待制度のご案内

当社では、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝し、当社株式の所有株式数および保有期間に応じて、下記のとおり株主優待制度を設けております。

株主優待制度の内容

- (1)対象となる株主様
毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上保有の株主様を対象といたします。
- (2)株主優待の内容
以下の基準により、クオカードを贈呈いたします。

継続保有期間	優待内容
1年未満	クオカード500円分
1年以上（注）	クオカード1,000円分

(注)「継続保有期間1年以上」とは、毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に同一の株主番号で基準日を含めて3回以上連続して記載または記録されている株主様といたします。

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。